国際生活機能分類（ICF）からみた介護予防のアセスメント視点例

ICF(International Classification of Functioning, Disability and Health)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 健康状態 | | □病名と症状　　　　 　　□既往歴  □服薬内容（別添可） 　　　□主治医  □受診行動（頻度、方法）　　　　　　　　　　　　　等 |
| 生活機能 | 心身機能・構造 | □栄養（摂取量増減等、チェックシート以外の内容）  □睡眠内容　　　　　□筋力　　　　□全身持久力  □日常生活の支障の程度（視覚、聴覚、開排制限、痛み等）  □口腔機能と衛生（OC5、OC10以外の内容）  □精神面（抑うつ、認知機能）　　□排尿・排便障害　等 |
| 活動 | □起居動作（立ち座り、浴槽のまたぎ等）  □移動（屋内外の歩行、補助具の使用）　　　□運搬動作  □衣服の脱着　　　□買い物　　　□金銭管理  □調理　　　□掃除　　　□洗濯　　　□服薬管理  □洗髪・洗身　　□爪切り・耳掃除　　□整理整頓　等 |
| 参加 | □日中の活動の有無　　□外出先の有無　　□趣味活動　　□友人との交流　　□地域の居場所　　　　　　　　等 |
| 背景因子 | 環境因子 | □家族構成及び家族の健康状態　□住環境（立地状況）  □家族・親族とのつながり　　　□経済状況  □公共交通機関へのアクセス　□友人宅などまでの距離  □よく利用していた社会資源　　　　　　　　　　　等 |
| 個人因子 | □成育歴・生活歴　　□性格・考え方　　□価値観  □趣味・嗜好　　　□こだわり　　　□職歴　　　　等 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　R4.4月作成